

「山のこころ－森・人－交流活性化事業」

地域再生計画事後評価シート

平成 25 年 2 月

長野県・南木曾町

## 地域再生計画 事後評価結果シート

地域再生計画の名称	山のこころー森・人ー交流活性化事業計画
地域再生計画の作成主体	長野県 長野県木曾郡南木曾町
地域再生計画の期間	平成19年度～23年度
地域再生計画の区域	長野県木曾郡南木曾町木曾川沿岸の区域
地域再生計画の概要	町の中心部と柿其溪谷、大桑村を結ぶ「町道川向榎野線」、「町道天白戸場線」の整備により妻籠宿を中心とする町内の観光施設の有機的な接続と「木曾の玄関口」として国道19号の緊急時の迂回路線の確保を図る。また国道と袖山牧場を結ぶ「林道田の沢線」、国道256号と石休牧場を結ぶ「林道細野山線」の整備により農林業振興の活性化と地域資源の有効利用を図る。上記のために行う事業として、下記の事業を実施した。

	項目		整備量	事業費	(千円)	実施状況	
					うち交付金		
支援措置を 活用する事業	町道(過疎代行) 川向榎野線	計画	1.8000 k m	1,000,000	500,000		
		実施	合 計	1.008km	914,200		457,100
			19年度	0.000km	34,200		17,100
			20年度	0.640km	240,000		120,000
			21年度	0.120km	160,000		80,000
			22年度	0.080km	240,000		120,000
	23年度	0.168km	240,000	120,000			
	町道 天白戸場線	計画	0.300 k m	60,000	30,000		
		実施	合 計	0.300km	57,500		28,750
			19年度	0.000km	7,900		3,950
20年度			0.121km	21,100	10,550		
		21年度	0.179km	28,500	14,250		

	林道 細野山線 田の沢線	計画	1.600 k m	42,240	17,280	
		実施	合計	1.276km	44,494	15,756
			細野山線			
			19年度	0.512km	10,120	4,800
			20年度	0.564km	9,036	4,224
田の沢線						
21年度	0.060km	9,997	2,880			
22年度	0.140km	15,341	3,852			

【数値目標の達成状況】

指標	計画値	実績値	評価
目標1：柿其溪谷入込客数 (計画時 13,100 人/年)	15,000 人/年	H19年度 13700 人 H20年度 14000 人 H21年度 15700 人 H22年度 14900 人 H23年度 15500 人	おおむね目標値を達成することができた。
目標2：国道19号事故による通行止め1回当たりの平均渋滞待ち時間 (計画時 2 時間)	0 時間	H19年度 事例なし H20年度 事例なし H21年度 1回 20分 H22年度 事例なし H23年度 3回 20分	期間内には、通行止め事例は4回。 全線整備が完了していないため、狭い区間を経由し、普通車であれば20分で通過可能となった。しかしながら、通行量の多い大型車両は依然として通行できない状態が続いており、より一層の整備がもとめられる。
目標3：間伐材利用面積 (計画時 0ha)	10ha	H21年度 7.32ha H22年度 2.53ha	おおむね目標値を達成することができた。
目標4：町内新規就業者 (計画時 0人)	30人	H19年度 11人 H20年度 30人 H21年度 19人 H22年度 18人 H23年度 9人	目標値を上回る成果を達成することができた。

【総合評価】

本地域再生計画に基づく事業の実施により、概ね目標とする整備が行われた。本事業にて町道の整備を実施したことにより、柿其溪谷と町中心部、妻籠宿を短時間で結び観光客の誘客につながった。一部残った町道未開設区間も今後整備することで、初期の目的が達成され、更なる地域の発展が期待できます。また、林道整備を行ったことで、今まで森林施業が困難であった箇所での森林整備と畜産農家の運搬の安全確保が図られた。今後も引き続き事業を進めていく上で、豊かな観光資源と森林資源を生かした活力ある地域の再生を目指します。

(添付資料)

# 道整備交付金による施設整備の整備箇所 実績図

